



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社
 コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門管掌 (氏名) 山本 幸二

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,663	△5.5	470	△26.0	468	△31.8	288	△25.4
24年3月期第2四半期	5,993	△11.2	635	14.7	686	19.6	386	20.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	18.04	18.00
24年3月期第2四半期	24.19	24.19

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	18,191	9,607	52.8	601.10
24年3月期	18,899	9,432	49.9	590.55

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,599百万円 24年3月期 9,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△11.4	520	△8.3	520	△17.2	300	△1.9	18.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	16,009,000 株	24年3月期	16,000,000 株
25年3月期2Q	38,293 株	24年3月期	36,186 株
25年3月期2Q	15,966,814 株	24年3月期2Q	15,965,124 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、内需主導による緩やかな回復が足踏みし、長引く円高や原発問題に加え中国・韓国の政治的リスク等により踊り場にさしかかっています。

世界経済においては、欧州の債務危機の長期化や中国を含めた新興国経済の減速が景気の下ぶれに繋がる様相を見せており、その影響が懸念されます。

当社の関わる海運・造船業界におきましては、近海船運賃市況の低迷や船腹過剰及び円高の定着により経営環境にますます厳しさが増してきております。当社の営業分野につきましては、火力発電所向けの重油タンカー船の新造船建造が一段落しましたが、原発の将来政策に方向性が見えないなかで、ふたたび重油タンカー船や小型ケミカル船の引き合いが見られるようになっております。また、内航貨物船業界には、新日本製鐵と住友金属工業の合併に見られるような鉄鋼業界の再編により、今後新たに物流の合理化の影響が出てくるものと思われま。海外案件では台湾・韓国の漁船や商船、タイの内航タンカー関連に一部引き合いが続いています。

このような企業環境のもと、当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高は、前年同期に大きく落ち込んだ主機関がやや持ち直した結果、前年同期比6.4%増の4,919百万円となりました。売上高は部分品が持ち直しましたが主機関が落ち込み同5.5%減の5,663百万円となりました。受注残高は、主機関販売高に受注が見合わず、同34.5%減の3,770百万円となりました。

損益面につきましては、内製化による操業度の維持や製造コストの低減、経費節減に注力したものの、主機関の生産、販売が落ち込み、営業利益は470百万円(前年同期比26.0%減)、経常利益は468百万円(同31.8%減)、四半期純利益は288百万円(同25.4%減)となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、輸出が減少し3,226百万円(前年同期比11.6%減)となりました。部分品・修理工事は国内の増加が輸出の減少を上回り2,437百万円(同4.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は8,954百万円となり、前会計年度末に比べ490百万円減少いたしました。これは主に製品が268百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が92百万円減少したことによるものであります。固定資産9,236は百万円となり、前会計年度末に比べ218百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が145百万円減少したこと、及び投資その他の資産が68百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、18,191百万円となり、前会計年度末に比べ708百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は4,748百万円となり、前会計年度末に比べ544百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が461百万円減少したこと、及び前受金が149百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,835百万円となり、前会計年度末に比べ339百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が221百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、8,583百万円となり、前会計年度末に比べ884百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は9,607百万円となり、前会計年度末に比べ175百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が240百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.8%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期の実績を踏まえ、平成24年5月11日発表の業績予想を下記の通り修正いたします。

なお、年度後半につきましては、売上高はほぼ計画通りに推移する見込みではありますが、損益面につきましては、主機販売価格下落により採算が悪化する見込みであります。

平成24年3月期通期業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	330	300	160	10.02
今回修正予想(B)	10,500	520	520	300	18.79
増減額(B-A)	500	190	220	140	—
増減率(%)	5.0	57.6	73.3	87.5	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	11,854	567	627	305	19.15

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

①税金費用の計算

税金費用については、第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,752,389	2,767,380
受取手形及び売掛金	3,776,466	3,684,007
有価証券	10,495	—
製品	520,168	251,658
仕掛品	1,211,342	1,158,051
原材料及び貯蔵品	979,462	967,498
その他	352,142	280,800
貸倒引当金	△157,800	△155,000
流動資産合計	9,444,668	8,954,397
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,305,958	1,281,477
構築物(純額)	243,660	229,920
機械及び装置(純額)	1,090,790	956,807
車両運搬具(純額)	4,073	2,873
工具、器具及び備品(純額)	79,536	109,127
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	5,321	3,450
有形固定資産合計	8,547,212	8,401,530
無形固定資産	34,580	30,326
投資その他の資産		
投資有価証券	545,441	440,346
その他	350,428	408,005
貸倒引当金	△22,500	△43,500
投資その他の資産合計	873,369	804,852
固定資産合計	9,455,162	9,236,708
資産合計	18,899,831	18,191,106
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,687,017	2,225,703
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	443,428	443,428
未払法人税等	117,562	198,562
前受金	1,030,436	880,955
賞与引当金	141,000	141,000
製品保証引当金	29,100	24,200
その他	703,768	694,347
流動負債合計	5,292,313	4,748,196

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
社債	440,000	370,000
長期借入金	876,288	654,574
再評価に係る繰延税金負債	1,714,667	1,714,667
退職給付引当金	911,723	876,033
その他	232,426	219,832
固定負債合計	4,175,106	3,835,107
負債合計	9,467,419	8,583,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,598
資本剰余金	41,825	42,424
利益剰余金	5,364,157	5,604,293
自己株式	△9,958	△10,234
株主資本合計	6,196,025	6,437,081
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	128,202	59,746
土地再評価差額金	3,103,168	3,103,168
評価・換算差額等合計	3,231,370	3,162,914
新株予約権	5,016	7,806
純資産合計	9,432,411	9,607,802
負債純資産合計	18,899,831	18,191,106

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,993,645	5,663,781
売上原価	4,341,044	4,143,633
売上総利益	1,652,600	1,520,147
販売費及び一般管理費	1,017,267	1,050,055
営業利益	635,333	470,091
営業外収益		
受取利息	1,423	1,294
受取配当金	10,746	2,524
受取補償金	53,677	—
その他	7,821	8,345
営業外収益合計	73,669	12,164
営業外費用		
支払利息	16,669	12,521
その他	5,870	1,383
営業外費用合計	22,539	13,904
経常利益	686,462	468,351
特別損失		
固定資産処分損	11,828	2,324
投資有価証券評価損	1,424	—
特別損失合計	13,253	2,324
税引前四半期純利益	673,209	466,027
法人税等	287,000	178,000
四半期純利益	386,209	288,027

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	673,209	466,027
減価償却費	328,680	237,712
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△33,340	△35,690
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△74,800	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,000	18,200
受取利息及び受取配当金	△12,169	△3,818
支払利息	16,669	12,521
投資有価証券評価損益(△は益)	1,424	—
固定資産処分損益(△は益)	11,828	2,324
売上債権の増減額(△は増加)	△375,196	△78,057
たな卸資産の増減額(△は増加)	△278,583	333,764
仕入債務の増減額(△は減少)	495,574	△461,314
その他	△54,845	29,817
小計	691,450	521,486
利息及び配当金の受取額	16,621	9,265
利息の支払額	△16,068	△11,939
法人税等の支払額	△129,203	△98,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	562,799	420,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	1,500,000	1,300,000
有価証券の売却による収入	—	10,495
有形固定資産の取得による支出	△46,882	△75,843
無形固定資産の取得による支出	△12,764	—
投資有価証券の取得による支出	△1,195	△1,187
その他	2,538	1,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	441,696	734,988
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△236,714	△221,714
社債の償還による支出	△70,000	△70,000
自己株式の取得による支出	△82	△267
配当金の支払額	△46,680	△48,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△353,477	△340,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	651,018	814,990
現金及び現金同等物の期首残高	1,651,439	1,902,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,302,457	2,717,380

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

(i) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成23. 4. 1 から 平成23. 9. 30 まで〕	〔平成24. 4. 1 から 平成24. 9. 30 まで〕	〔平成23. 4. 1 から 平成24. 3. 31 まで〕
受 注 高	主 機 関	2,279 (49.3%)	2,482 (50.5%)	5,190 (56.2%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	2,343 (50.7%)	2,437 (49.5%)	4,049 (43.8%)
	合 計	4,622 (100.0%)	4,919 (100.0%)	9,239 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	5,757 (100.0%)	3,770 (100.0%)	4,514 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	5,757 (100.0%)	3,770 (100.0%)	4,514 (100.0%)

(ii) 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成23. 4. 1 から 平成23. 9. 30 まで〕	〔平成24. 4. 1 から 平成24. 9. 30 まで〕	〔平成23. 4. 1 から 平成24. 3. 31 まで〕
主 機 関		3,650 (60.9%)	3,226 (57.0%)	7,805 (65.8%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		2,343 (39.1%)	2,437 (43.0%)	4,049 (34.2%)
合 計		5,993 (100.0%)	5,663 (100.0%)	11,854 (100.0%)
(うち輸出分)		(1,627) (27.2%)	(1,167) (20.6%)	(3,144) (26.5%)